

# 森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業 の審査方法について

平成20年5月20日  
林野庁研究・保全課

平成20年度森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業審査項目(案)

観 点 特 性	技術的観点			実施体制の観点	
	製造システム	製 品	実証内容	プラント建設	運 営
適合性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス・ニッポン総合戦略等との適合</li> <li>・本事業の趣旨・目的との適合性</li> <li>・分子レベル変換利用システムと導入技術の適合性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石由来製品への代替性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術実証目標、目標達成のための課題と実証方法の適合性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備計画の適合性</li> <li>・プラント建設予算の適合性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営基盤の適格性</li> <li>・同種・類似業務の遂行の有無</li> <li>・運営予算の適合性</li> </ul>
効率性・経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム全体構成の効率性・経済性・安定性</li> <li>・木質成分の総合的利用と変換効率</li> <li>・製品製造コストの経済性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の高品質性</li> <li>・主産物以外の木質成分の活用による効率性・経済性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証方法の効率性・経済性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設コストの効率性・経済性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の効率性(機関連携を含む)</li> </ul>
実行性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・操作性、耐久性、機動性等の特性</li> <li>・未利用資源の活用と原料調達への考え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場における製品の活用性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年以内の基本的な製造システムの構築が見込める計画</li> <li>・技術実証目標達成の可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政手続き、地元調整</li> <li>・設置場所の確保</li> <li>・原料確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な人員配置</li> <li>・運営計画(委員会開催を含む)</li> </ul>
発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規・独自性</li> <li>・製造システムの波及性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規市場創設の効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業終了後数年以内の実用化の可能性(イニシャルコスト、製造能力及びランニングコスト等)</li> </ul>		
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷低減への配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の環境へ与える影響への配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷低減に関する実証内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全・維持への配慮</li> </ul>	
その他の優位性					

平成20年度森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業審査項目(案)

No.	観 点		特 性	審査事項	審査項目
1	技術的観点	製造システム	適合性等	・バイオマス・ニッポン総合戦略等との適合性	提案の内容がバイオマス・ニッポン総合戦略等の農林水産省の方針に適合しているか。
2	技術的観点	製造システム	適合性等	・本事業の趣旨・目的との適合性	提案の内容が当事業実施の趣旨・目的に適合しているか。
3	技術的観点	製造システム	適合性等	・分子レベル変換利用システムと導入技術の適合性	製造システムが木質を分子レベルでとらえ化学的、物理的、生物的に変換して利用するものであり、各製造工程に導入する要素技術の選択・組み合わせが適正であるか。
4	技術的観点	製造システム	発展性	・新規・独自性	要素技術が優れており、新規性、独自性を有しているか。(要素技術の研究開発成果の確実性)
5	技術的観点	製造システム	環境への配慮	・環境負荷低減への配慮	製造システムにおいて環境への負荷低減の配慮に優れているか。
6	技術的観点	製造システム	実行性	・未利用資源の活用と原料調達への配慮	製造システムが実用化した場合に、間伐材、林地残材等の未利用森林資源の活用を想定したものであり、原材料の調達環境に適したものとなっているか。
7	技術的観点	製造システム	効率性・経済性	・木質成分の総合的利用と変換効率	製造システムが木質成分を総合的に利用する方式であり、木質バイオマス製品への変換効率等が優れているか。
8	技術的観点	製造システム	効率性・経済性	・システム全体構成の効率性・経済性・安定性	製造システム全体構成が効率性、経済性、安定性に優れているか。
9	技術的観点	製造システム	効率性・経済性	・製品製造コストの経済性	【大規模低コスト型】 製品製造コストが経済性の点で優れているか。
10	技術的観点	製造システム	効率性・経済性	・システム全体構成の効率性・経済性・安定性	【高付加価値型】 製造システムが高付加価値製品を製造できる性能に優れているか。
11	技術的観点	製造システム	効率性・経済性	・システム全体構成の効率性・経済性・安定性	【小規模分散型】 製造システムが利便性に優れているか。
12	技術的観点	製造システム	実行性	・操作性、耐久性、機動性等の特性	製造システムが、操作性、耐久性、機動性等に優れているか。
13	技術的観点	製造システム	発展性	・製造システムの波及性	製造システムが実用化された場合の波及性に優れているか。
		小 計			
14	技術的観点	製 品	適合性等 環境への配慮	・化石由来製品への代替性 ・製品の環境へ与える影響への配慮	製品が化石由来製品に代替するものであり、環境への影響を配慮したもののか。
15	技術的観点	製 品	効率性・経済性 実行性	・製品の高品質性 ・市場における製品の活用性	製品の品質が優れており、製品の活用性が高いか。
16	技術的観点	製 品	効率性・経済性	・主産物以外の木質成分の活用による効率性・経済性	主産物以外の木質成分の活用法が優れているか。
17	技術的観点	製 品	発展性	・新規市場創設の効果	市場ニーズが具体的に把握されており、製品の波及性が高く、当該技術が実用化されることによる新規市場創出効果が大きいものであるか。
		小 計			

No.	観 点		特 性	審 査 事 項	審 査 項 目
18	技術的観点	実証内容	適合性等	・技術実証目標、目標達成のための課題と実証方法の適合性	技術実証目標の設定が適正であるか。
19	技術的観点	実証内容	適合性等	・技術実証目標、目標達成のための課題と実証方法の適合性	目標達成のための実証課題が明確か。(製造効率、製造コスト、製品の品質・性能向上、製造技術の信頼性を確保する連続運転等)
20	技術的観点	実証内容	環境への配慮	・環境負荷低減に関する実証内容	環境負荷低減のための実証内容が盛り込まれているか。
21	技術的観点	実証内容	効率性・経済性	・実証方法の効率性・経済性	実証方法が、課題解決のために適正に設定されており、効率性、経済性に優れているか。
22	技術的観点	実証内容	実行性	・5年以内の基本的な製造システムの構築が見込める計画 ・技術実証目標達成の可能性	研究成果や技術開発成果を要素技術として活用し、5年以内に基本的な製造システムの構築が見込める適正な計画となっており、期間内に技術実証目標が達成される可能性が高いか。
23	技術的観点	実証内容	発展性	・事業終了後数年以内の実用化の可能性(イニシャルコスト、製造能力及びランニングコスト等)	事業終了後数年以内に、実用化が達成される可能性は高いか。(実証プラントをスケールアップまたは小規模分散化した場合のイニシャルコスト、製造能力、ランニングコスト等の点から)
		小 計			
	計				
24	実施体制の観点	プラント建設	適合性等	・施設整備計画の適合性	実証プラントに必要な施設整備が適正に計画されているか。
25	実施体制の観点	プラント建設	実行性	・設置場所の確保 ・原料確保	実証のための原材料調達が確保され、実証プラントの設置場所の選定が適正であるか。
26	実施体制の観点	プラント建設	環境への配慮	・環境保全・維持への配慮	プラント建設にあたって、環境保全・維持への配慮がされているか。
27	実施体制の観点	プラント建設	適合性等 効率性・経済性	・プラント建設予算の適合性 ・建設コストの効率性・経済性	プラント建設コストの予算規模が適正で、その内容が効率的で経済的か。
28	実施体制の観点	プラント建設	実行性	・行政手続き、地元調整	プラント建設に必要な行政手続き、地元調整が確実に実行される計画となっているか。
		小 計			
29	実施体制の観点	運営	適合性等	・経営基盤の適格性 ・同種・類似業務の遂行の有無	事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金、設備等について十分な管理能力を有するとともに、本事業を実施するのに十分な本事業と同種または類似の業務の経験があるか。
30	実施体制の観点	運営	実行性	・適切な人員配置	人員配置が適切であり、実施体制が適正であるか。
31	実施体制の観点	運営	効率性・経済性 実行性	・運営の効率性(機関連携を含む) ・運営計画(委員会開催を含む)	委員会の設置・開催を含む事業実施の運営計画が適正で効率的であるか。
32	実施体制の観点	運営	適合性等	・運営予算の適合性	事業実施に当たっての所要経費(5年間、平成20年度)の必要性が明確で積算内容が適正か。
		小 計			
	計				

No.	観 点		特 性	審査事項	審査項目
	【加算点】				
33	技術的観点	製造システム	その他の優位性		製造システムが、その他の優位性を有しているか。
34	技術的観点	製 品	その他の優位性		製品が、その他の優位性を有しているか。
35	技術的観点	実証内容	その他の優位性		実証内容が、その他の優位性を有しているか。
36	実施体制の観点	プラント建設	その他の優位性		プラント建設について、その他の優位性を有しているか。
37	実施体制の観点	運営	その他の優位性		運営について、その他の優位性を有しているか。
		小 計			
	合 計				合 計